

第35回日本海駅伝競走大会

開催要項

- 主催 一般財団法人鳥取陸上競技協会、新日本海新聞社
- 特別協賛 倉吉市、湯梨浜町、三朝町、大山乳業農業協同組合
- 協賛 ミズノ、J A鳥取中央
- 特別後援 日本海ケーブルネットワーク
- 後援 鳥取県、鳥取県教育委員会、鳥取市、鳥取市教育委員会、倉吉市教育委員会、米子市、米子市教育委員会、境港市、境港市教育委員会、湯梨浜町教育委員会、三朝町教育委員会、鳥取県町村会、鳥取県中部町村会、鳥取県体育協会、鳥取短期大学、鳥取県高等学校体育連盟、倉吉商工会議所、鳥取県経済同友会、倉吉青年会議所、鳥取県観光連盟、倉吉市ホテル旅館組合、はわい温泉・東郷温泉旅館組合、三朝温泉旅館協同組合、関金温泉旅館組合、NHK鳥取放送局、B S S山陰放送、日本海テレビ、山陰中央テレビ、エフエム山陰、鳥取中央有線放送
- 協力団体 鳥取県警察本部、倉吉警察署、鳥取中部ふるさと広域連合消防局、鳥取県中部総合事務所県土整備局、倉吉・湯梨浜・三朝交通安全指導員連絡協議会、倉吉市スポーツ推進委員協議会、鳥取県中部医師会、駅伝応援おもてなしプロジェクト
1. 日 時 平成27年10月4日(日) 正午スタート
2. 監督会議 10月3日(土) 午後2時から
会場：倉吉未来中心・セミナールーム3 (倉吉市駄経寺町212-5 TEL0858-23-5390)
※監督会議受付でナンバーカードを配布するので、必ず出席すること
※オーダー変更がある場合は、変更用紙(受付時に配布)に記入すること
※「くらよし女子駅伝」と同時開催
3. 開会式 10月3日(土) 午後3時から
会場：倉吉未来中心・大ホール(倉吉市駄経寺町212-5)
※「くらよし女子駅伝」と同時開催
4. 閉会式 10月4日(日) 午後3時30分～4時頃から
会場：倉吉市営陸上競技場(倉吉市葵町 TEL0858-22-5674)
※「くらよし女子駅伝」とは別に行う
5. コース 倉吉市営陸上競技場付設 倉吉打吹・東郷湖畔・三朝コース(日本陸連公認)
(倉吉市営陸上競技場を発着点とし、湯梨浜、三朝を通過する42.195km)

6. 距離・区間 7区間 (計42.195km)
- | | | |
|----|----------|---|
| 1区 | 10km | 倉吉市宮陸上競技場—(倉吉駅前)—
湯梨浜町・めぐみのゆ公園前 |
| 2区 | 3km | めぐみのゆ公園前—鳥取県自動車運転免許試験場前 |
| 3区 | 8.1075km | 鳥取県自動車運転免許試験場前—
(出雲山展望台手前約300m付近折り返し)—めぐみのゆ公園前 |
| 4区 | 8.0875km | めぐみのゆ公園前—
(ル・サンテリオン東郷角交差点回り)—倉吉市・広栄町 |
| 5区 | 3km | 広栄町—三朝町・今泉交差点前 |
| 6区 | 5km | 今泉交差点前—(横手橋)—三朝町役場周辺 |
| 7区 | 5km | 三朝町役場周辺—倉吉市宮陸上競技場 |
- ※5、6、7区は昨年のコースから一部変更

7. 部 門 高校部門 (高校総合の部・県内高校の部)

8. 参加資格 ※原則として、日本陸連に登録しているチーム
「高校部門」

- ①各高校に在籍するもの (高専は3年生まで)
- ②出発後2時間20分以内で完走できるチーム (県内高校は除く)

9. チーム 1チーム監督1名、選手12名の登録とする
※参加チームは各高校1チームのみとする
(但し、前年度の本大会15位以内の高校、鳥取県内の高校のみA、Bの2チームを認める)

10. 競技規則
- ①2015年度日本陸上競技連盟規則に準じて行う
 - ②伴走車は一切認めない
 - ③ナンバーカードの番号は主催者が指定。タスキは主催者側で準備したものを使用する。
 - ④出発後2時間40分で競技を打ち切る。第4、第6中継所で関門規制を設け、それに達しないチームは繰り上げスタートとする。ただし、大幅な遅れがみられる場合は、他の中継所でも繰り上げスタートを行う場合がある
- ※関門規制は次の通り 第4中継所＝午後1時38分00秒
第6中継所＝午後2時5分00秒
- ⑤外国人留学生の参加については、2名以内とし出場については6区の1名とする

11. 参加費 高校部門 1チーム 15,000円 (消費税込み・申し込みと同時に納入すること)

12. 表彰 高校部門

(高校総合の部)

- ・優勝 …………… 優勝旗 (持ち回り)、メダル、賞状、副賞
- ・2位 …………… トロフィー、メダル、賞状、副賞
- ・3位 …………… トロフィー、メダル、賞状、副賞
- ・区間賞 …………… メダル、賞状、副賞
- ・優勝監督賞 …………… 盾

(県内高校の部)

- ・優勝 …………… カップ (持ち回り)、メダル、賞状、副賞
- ・2位 …………… トロフィー、メダル、賞状、副賞
- ・3位 …………… トロフィー、メダル、賞状、副賞
- ・区間賞 …………… メダル、賞状、副賞
- ・優勝監督賞 …………… 盾

全部門を通じて

- ・総合優勝監督賞 …… チャンピオンブレザー

13. 参加申し込み、及び締め切り日

提出書類	申込期日	提出方法
①参加申込書 ・大会当日の緊急連絡先のメールアドレスを必ず記入 ・所属高等学校長、監督の押印	平成27年8月21日(金) 午後5時までに必着	電子メール又は郵送 ※参加申込書の原本は、所属高等学校長、監督の押印をして必ず郵送
②参加料振込	平成27年8月21日(金)	所定の用紙で郵便局で振り込む
③宿泊、弁当申込書	平成27年8月21日(金) 午後5時までに必着	電子メール又は郵送
④オーダー表	平成27年9月11日(金) 午後5時までに必着	電子メール又は郵送
⑤健康診断書 (所属高等学校長、監督、学校医の押印)	平成27年10月3日(土)	郵送又は持参
⑥最終オーダー表 (④のオーダー表から変更のあるチームのみ)	午後3時まで	監督会議受付に提出

<注意事項>

- ・申込期日を厳守すること。
- ・参加料は参加申込書の提出時に、指定の口座へ入金すること。支払後、大会不参加の場合は返金しない
- ・必要事項の未記入など提出書類に不備がある場合は、再提出が必要

申し込み先

〒682-8505 鳥取県倉吉市上井町1丁目156 新日本海新聞社中部本社内駅伝事務局 E-mail アドレス k-jigyo@nnn.co.jp ※参加申込書は日本海新聞ホームページからダウンロードできます。 http://www.nnn.co.jp/ ※7月下旬～(予定)

14. 宿 泊 幹旋を希望する場合は、同封の宿泊申込用紙と参加証明書に必要事項を明記して申し込むこと。場所は県中部地域の各市町のホテル、温泉旅館だが、直接予約したチームを優先しているので希望に添えない場合がある
※キャンセル料は宿泊先が定めるものとする
宿泊幹旋申し込み締め切りは 8月21日(金) 必着
- 宿泊料金 …… 1泊2食 8,600円(税込み)から 温泉旅館は別途入湯税が必要
問い合わせは新日本海新聞社中部本社内駅伝事務局
TEL 0858-26-8340 FAX 0858-26-8310
15. 昼 食 大会当日の昼食(弁当)が必要であれば主催者で準備する。同封の用紙で申し込むこと
一個600円(税込み、お茶付)
※大会当日、陸上競技場で弁当と引き換えに代金を清算する
16. 選手輸送 大会当日、全選手の配置と収容は、主催者が用意するバスで行うので必ず乗車すること
招集時間等については監督会議で説明する
集合時間等はプログラムに記載する
17. その他 ①参加者は、各チームおよび個人の責任において健康管理を行う
②競技中の事故について、主催者側は応急処置のみ行うが、今後の処置については各チーム、個人で責任を持つものとする(スポーツ傷害保険には一括加入する)
③発着点の倉吉市宮陸上競技場周辺は混雑が予想されるので、各出場チームには駐車券を送付する

お問い合わせ

〒682-8505 鳥取県倉吉市上井町1丁目156 新日本海新聞社中部本社内駅伝事務局 TEL 0858-26-8340 FAX 0858-26-8310 E-mail アドレス k-jigyo@nnn.co.jp
--

運営細目および監督・選手に対する注意事項

本大会は、2015年度日本陸上競技連盟競技規則、同駅伝競走基準および本大会規定による

1. 出場選手について

- (1) 第1区走者より第7区走者のオーダー表を前もって提出し、最終変更のみを監督会議受付時に提出すること。なお、A、B 2チーム出場する場合は、AからB、BからAの変更も認める
- (2) 監督会議後の選手変更は病気、ケガ等不慮の場合のみ、同一チームの補欠をその区間の交代として補充できる
- (3) 外国人留学生の参加については、2名以内とし出場については6区の1名とする

2. 競技について

- (1) 選手は道路の中央線より左側を走らなければならない。右折交差点では誘導ライン（カラーコーン）より右に出てはならない。また中継所において、タスキを渡し終わった選手は速やかに左側へよること
- (2) 引き継ぎはタスキを用いる。タスキは第1区走者の第1次点呼（朝の受付時）に渡す。タスキは肩から斜めわき下へかけて走るものとし、肩にかけてないものは失格となる。ただし、引き継ぎ前100m、引き継ぎ後50mは手に持って走ってよいが、できるだけ速く肩にかけること
- (3) ナンバーカードは1人に2枚（区間番号入り）配布するので、ユニフォームの胸、背部にそのまま確実に付けること

※ナンバーカードについているチップ（記録計測器）は、競技終了後に中継所で回収する。チップを紛失した場合は、実費負担を求める

- (4) 車および人による伴走、飲食物補給その他、走者への援助を行うことは出来ない。伴走およびこれに類する行為があった場合は失格の対象となる
- (5) 第1区走者の出発時のコース順等は、監督会議までに大会事務局で決める
- (6) 出発に当たっては、10分前、5分前、1分前、30秒前をそれぞれ通告し、『用意』は呼ばず、「10秒前」と呼ぶ。出発合図はピストルを用いる。第1区走者は5分前にスタート地点に並び、少なくとも2分前に競技服装となる。スタートはウォーキングスタートとする
- (7) レース中に走者が不慮の事故のため競技を中止した場合は、次の走者を出発させる。この場合の出発時期は、最終順位の走者から1分後とし、オープン参加として取り扱う。その場合、総合記録は認められないが、事故のあった区間以外の区間記録は認める
- (8) 各区間とも「中間点」「あと1km地点」の標示を出す。（3kmは中間点のみ）
- (9) レース中に生じた事故については、救急医療のみ大会本部で行う

3. 選手の招集、輸送について

- (1) 最終点呼は現地（各中継所）で行うが、応じない場合は失格とする場合がある
- (2) 選手は、中継所到着後からスタートまで時間があるので、中継所役員の指導によりウォーミングアップを行うこと。また、走り終わった選手は収容バスに遅れないように乗車すること。なお、選手の安全についてはあらかじめ指導しておきたい

(3) 選手の荷物は輸送しないので、次走者のものを着用する等、各チームで対応すること（貴重品等の管理は各チームで行うこと）

(4) 輸送バスの招集時刻および、選手の輸送計画はプログラムに記載する

4. 試走について

(1) 交通ルールを遵守し、並列しないように左端を走る。車道に広がる、信号を無視するなど地域住民に迷惑がかかることは行わない

(2) 安全タスキなど、反射材を着用する

5. 大会当日の交通マナーについて

(1) コース上やその周辺道路への駐車、長時間の停車、無理な追い越しは行わない

※チーム関係者や応援者などへの周知徹底を。事故が起これば、大会が開催できなくなる場合がある